

デジタル紙芝居《桃太郎絵巻》

急に、休校になってしまったきつずのみなさんは、お家でどうやって過ごしていますか？

「きつず・ミュージアム・Lab」、そして2020年4月からスタートする予定だった「じゅにあ・ミュージアム・Lab」もずっとお休み状態で、とってもさみしいです。

そこで、ささやかですが、お家でできる美術館体験「デジタル紙芝居《桃太郎絵巻》」を紹介します。

岡山県立美術館は、岡山に関係する作品を集めて、それを展示して、多くの人に楽しんでもらっています。その中に《桃太郎絵巻》（上下巻／狩野派）という作品があります。とっても長い作品で、各巻とも横幅970cm前後もあります。今回は、この絵巻を、きつずのみなさんに楽しんでもらう「デジタル紙芝居《桃太郎絵巻》」を紹介します。このデジタル紙芝居は、2016年に、岡山県立岡山芳泉高等学校の美術部と放送文化部の学生さんが、岡山県立美術館の所蔵作品《桃太郎絵巻》をもとに制作してくれた動画です（岡山県立美術館 学校と美術館の連携事業／岡山県立岡山芳泉高等学校カルチュラルラーニング）。

さて、みなさんが知っている桃太郎のお話はどんなお話ですか？

おじいさんは山へ芝刈りに、おばあさんは川へ洗濯に。すると大きな桃が流れてきて、その中から桃太郎が生まれました…というお話は、よく知られていますね。新しいバージョンとしては、鬼ヶ島で鬼と一緒にサッカーや鬼ごっこをしているうちに、みんな仲よくなりました…という五味太郎さんの『だれもが知っているあの有名な 桃太郎』（発行：絵本館）もあります。さて、「デジタル紙芝居《桃太郎絵巻》」はどんなお話でしょうか。

では、お家の人とお話ししながらゆっくりみてくださいね。

「デジタル紙芝居《桃太郎絵巻》」をみて、あなたが思ったことや考えたこと、お家の人とお話をしたことなどの感想を、よかったら県美まで送ってください。

○送り先：kenbi@pref.okayama.lg.jp

○件名：「桃太郎絵巻／感想」

○お名前（イニシャルで）・年齢

◆担当：岡山県立美術館

主任学芸員 美術館教育担当 岡本裕子